

令和3年度 地域振興事業

事業名	事業概略
水俣の海乗船体験によるもやい直し推進モデル事業	水俣芦北管外の小中学生の乗船体験を実施し、補助期間終了後の業務委託先の選定、業務マニュアルの作成を行う。
SUPの聖地化を通じたマリンアクティビティによる人材育成と新たな産業の創出	SUPの全日本選手権大会及び関連イベント(MINAMATA SUP BAY!)を実施する。補助期間終了後も継続的な事業実施のため、SUPAと連携し関係者育成に努め、イベント開催により交流人口の増加、新たな雇用創出にも繋げる。
みなまた和紅茶ブランド推進事業	九州和紅茶サミットin水俣の開催や、茶摘み・茶もみバスツアーを行い、水俣芦北地域で生産される紅茶のブランド推進を図り、紅茶並びに緑茶を広くPRする。
演奏家派遣アウトリーチ事業	熊本県立劇場が行っている演奏家派遣アウトリーチ事業を活用して、市内小学校に演奏家を派遣することで、文化振興を図り、地域における創造的で文化的な芸術活動の担い手を育成する。
自立運営を目指す「もやい福祉農園」	ビニールハウスを新設し、農業6次産業化により加工・販売の改革(モリंगा茶・寒漬け、黒ニンニク、サラダ玉ねぎドレッシングなど)
地元建設業の魅力を発信し産業振興のために水高生にできること～次世代の地域を担う人材育成に向けて～	熊本県建設業協会芦北支部と共同で地元建設業の魅力を発信し、人手不足等の課題解決に繋げる。また、将来の建設業の発展に向けてドローンの操作技術を身に付ける。
私たちの「そさえてい5.0」	水俣・芦北では鳥獣被害に悩む地域が多いことから水俣高校において被害軽減のため、改良型のイノシシ用の箱罠製作を行う。同時に猟師の高齢化に伴う減少等の課題解決に向け、最新の通信技術を用いた箱罠に設置するセンサーの製作や箱罠の見回りの負担軽減につながる新たなシステムの構築に水俣市猟友会を始めとした各関係者と連携して取り組む。
水俣・芦北地域活性化プロジェクト	地域の茶や柑橘類の生産者、菓子職人などと共同で新しいスイーツ商品の開発・販売を行う。同時にSNS等を活用して本事業の取組を広く発信する。
地域の不要材となっている竹や地域産品を利用した食品関連の新商品開発と雇用創出	地域の不要材となっている孟宗竹を炭化して、袋地区のサラダ玉ねぎや海藻、市場に出せない小魚を凝縮した新しい商品を完成させ、新しい雇用の場を生み出す。
ファイバーアートジュエリー「おしゃら」の開発と販路開拓	楮(コウゾ)等の和紙原料を用いたアクセサリーの開発・展示販売会を実施し、新ブランド「おしゃら」を立ち上げる。

<p>もやい直し事業「もやい&おれんじシアター」</p>	<p>高齢者や障がい者などが気軽に大画面のスクリーンを楽しめる機会をつくることを目的に、年4回の上映会を実施する。</p>
<p>もやい直し事業「辻井いつ子講演会」</p>	<p>全盲の我が子を世界的ピアニストに育て上げた辻井いつ子さんの講演会を開催し、人と人が支えあえる地域社会を構築し、更なるもやい直しの推進を図る。</p>
<p>水俣市立久木野小学校を基盤とした山村留学の促進と移住定住の促進事業</p>	<p>山村留学制度を導入している久木野小学校や久木野地域の魅力を発信し、児童数や人口の増加を図る。</p>
<p>地域活性化事業の次世代への継承事業</p>	<p>久木野地域の恒例行事である「やまびこ音楽祭」の次世代を担う若年層への継承を図る。</p>
<p>水俣・芦北地区～阿蘇くまもと空港アクセス向上</p>	<p>水俣・芦北地区～阿蘇くまもと空港までの区間の路線を乗合の公共交通機関等によりつなぎ、アクセス向上を図ることを目標に、地域のニーズを調査し行政へ今後の公共交通施策の要望をあげていく。</p>
<p>復興動画によるブランディング事業</p>	<p>令和2年7月豪雨災害時における多方面からの人的・物資支援に町からの感謝を伝えると同時に、復旧・復興に取り組む姿や地域の魅力を動画で全国に発信する。 頂いた支援に対する感謝を契機に、今後の芦北町復旧・復興の状況を伝えるのみでなく、更なる交流関係の向上を通じて、地域の活性化を図る。</p>
<p>SDGsの取り組み(鳥獣被害防止)</p>	<p>鳥獣被害の防止及び高齢農業者の意欲向上並びに環境保全を目的に複合的な事業を行う。主な事業:①環境保全、耕作放棄地の解消(ソーラーパネル電柵の設置、農作業)②栽培体験、収穫体験、料理体験を通じた交流</p>
<p>光合成細菌がカンキツ栽培に与える効果の研究</p>	<p>芦北高校では崇城大学生物生命学部が開発した「農業に使える光合成細菌」を使い、スイーツプリングについて2年間実用化に向けた研究を実施してきた。 研究の結果、果実の肥大や糖度の上昇という結果が見られたため、令和3年度は他の果実への応用を含め、JAあしきたや地元農業者と連携し技術確立に向けさらに研究を進める。</p>
<p>九州豪雨災害で被災した古民家を活用した、食品の開発・地元文化や地域との交流に関する研究</p>	<p>地元の特産物を活用した商品開発に取り組んでいるものの、令和2年7月豪雨災害により、校舎が被災し、加工が出来ない状況である。 学校近隣の古民家を、NPO法人が改修予定のため、その一室で加工品の試食会や提供を通じて、地元貢献を行う。</p>
<p>果樹の新たな担い手確保対策事業</p>	<p>水俣・芦北地域において、農業産出額の約半分を占める主要作目の果樹で新たな担い手を確保するため、関係機関一丸となって県内外からの新規就農希望者の募集から就農定着支援までの仕組みを構築する事業。</p>
<p>フットパスによる観光地の魅力づくり事業</p>	<p>町内にあるフットパスコースでのイベントを開催し、町内外へ情報発信を行う。また、旅行商品造成を目的とするフットパスツアーを実施し、町内観光素材に触れてもらい、商品造成の検討を行う。インスタグラムフォトコンテストの実施により、第三者によるSNSを通じた芦北町の魅力を町外へ発信する。</p>

九州豪雨復興プロジェクト
～古民家再生を通じた小規模複合拠点事業～

九州豪雨水害により多方面で今もなお大きな影響がでている。そのような状況の中、被災し解体予定であった古民家を使い、様々な団体や事業所、個人の方々とのコミュニティ拠点の一つとして再生する事業。
具体的には、団体・個人と連携した被災家屋の修繕改修。その後、芦北高校などと連携した活用。アートワーク事業など。

トップアスリート合宿誘致事業

東京オリンピック開催を控え、新体操女子、初採用の空手道に注目が集まっている。本町は、両種目の大会等を積極的に開催してきた経緯があり、今回ナショナルチームの合宿を誘致する。

芦北地域復興支援事業(熊本県県立大学学生による電動キックボードを活用した観光振興の検討)

水俣芦北地域において、公道を走行できる電動キックボードを活用した復興ツアーを行い、肥薩おれんじ鉄道と共同で、コースの検討などの実証実験に取り組むもの。

柳幸典つなぎプロジェクト

日本を代表する現代美術作家の柳幸典氏を招聘し、津奈木町のみならず隣接する地域の資源の有効活用につながる住民参画によるプロジェクト方式の大型展覧会をつなぎ美術館開館20年目となる2021年に開催する。